

各部類便覽

人

		和書門類	
五册	一八函	二七三號	七八三

庫文閣内		和書類	
三函	五册	二七三號	七八三

内閣文庫	
番號	和 27873
冊數	5 (5)
函號	202 136



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



名所部類便覧下

瀨 岸 江 池 澤 沼 井
堀 水 塚 園 那 郡 官
水 里 村 市 寺 社 雜



明治十六年購求

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '水' and '山'.

瀬

磐田川

能登

淡多那

千月より下流の地... 磐田川

石船のり



袖川

古知

喜多山

三所

三所川... 袖川

戸冠瀬

山瀬

喜多山

全案

戸冠瀬... 山瀬

橋小戸冠瀬

日向

一瀬

山瀬

山瀬

山瀬... 一瀬

石船瀬

山瀬

山瀬

石船瀬... 山瀬

鳥巻瀬

山瀬

山瀬

鳥巻瀬... 山瀬

厚湯

山瀬

山瀬

竹島橋 橋の下の傍に小川ありて水は
玉の如く清く流るるなり

石川

漢書

石川 漢書の漢の書に
在るに云く人よきと云くは

山吹瀬

山吹

山吹 山吹の瀬より水は
新橋迄 山吹の瀬より水は
万九 山吹の瀬より水は

八瀬

八瀬

八瀬川

八瀬 八瀬の瀬より水は
右と云くは 八瀬の瀬より水は

野馬川

野馬

野馬川

野馬川

廣瀬

廣瀬

廣瀬川

新瀬川

新瀬

新瀬川

新瀬川

万石 万石の瀬より水は
清く流るるなり

後瀬

漢書

後瀬 後瀬の瀬より水は
清く流るるなり

味津瀬 味津瀬の瀬より水は
清く流るるなり

味津瀬

味津

味津瀬 味津瀬の瀬より水は
清く流るるなり

味津瀬 味津瀬の瀬より水は
清く流るるなり

山序

岩南岩

任作 喜島川

此の岩南の岩の字は
居りしれどもおりの白

此の川は初より石根をよみ石根をよみ

岩代岩

任作 喜島川

此の岩代岩の字は
人々の言ふことなり

千種岩

任作 喜島川

千種川の字は
此の言ふことなり

玉出岩

任作 喜島川

元宮岩

任作

此の元宮の字は
居りしれどもおりの白

溪松岩

任作

此の溪松の字は
居りしれどもおりの白

浪懸岩

任作

此の浪懸の字は
居りしれどもおりの白

湍岩

任作

此の湍の字は
居りしれどもおりの白

立回岩

任作 喜島川

立回川の字は
居りしれどもおりの白

玉川岩

任作 喜島川

玉川の字は
居りしれどもおりの白

石砂岩

任作 喜島川

石砂川の字は
居りしれどもおりの白

津守岩

任作 喜島川

津守川の字は
居りしれどもおりの白

村松岩

任作

此の村松の字は
居りしれどもおりの白

松村岩

任作

此の松村の字は
居りしれどもおりの白

南岩

任作

此の南の字は
居りしれどもおりの白

毫句名

古紙 毫句名

か
毫句名
か
この名は少くも
か
か

大の目

名

か
大の目
か
か
か

尾の目

名

か
尾の目
か
か
か

二の目

名

か
二の目
か
か
か

三の目

名

か
三の目
か
か
か

水尾湖尾の目

名

水尾湖尾の目

か
水尾湖尾の目
か
か
か

任名

名

任名

か
任名
か
か
か

名田 名田 名田

は

引水堀江

あつちのいりまの堀江のいりま
堀江のいりまのいりまのいりま

あつちのいりまのいりまのいりま

堀江

堀江のいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

あつちのいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

細江

あつちのいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

小野江

あつちのいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

あつちのいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

堀江

あつちのいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

長浦江

あつちのいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

後川江

あつちのいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

伊江

あつちのいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

小野江

あつちのいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

堀江

あつちのいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

河原江

あつちのいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

堀江

元江

あつちのいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

可江

あつちのいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

玉江

あつちのいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

多江

あつちのいりまのいりまのいりま
あつちのいりまのいりまのいりま

余古入江

去る

此の川は古くは入江の海に
注ぎて居りしと云ふ人の傳

古川入江

去る

此の川は古くは古川と云ふ
人の傳に云ふに古川と云ふ

玉道入江

去る

此の川は古くは玉道と云ふ
人の傳に云ふに玉道と云ふ

五月 廿五日

玉津島入江

去る

此の川は古くは玉津島と云ふ
人の傳に云ふに玉津島と云ふ

去る

此の川は古くは入江の海に
注ぎて居りしと云ふ人の傳

津島入江

此の川は古くは津島と云ふ
人の傳に云ふに津島と云ふ

去る

此の川は古くは津島と云ふ
人の傳に云ふに津島と云ふ

去る

此の川は古くは津島と云ふ
人の傳に云ふに津島と云ふ

新波入江

此の川は古くは新波と云ふ
人の傳に云ふに新波と云ふ

巨椽入江

此の川は古くは巨椽と云ふ
人の傳に云ふに巨椽と云ふ

玉江

去る

此の川は古くは玉江と云ふ
人の傳に云ふに玉江と云ふ

此の川は古くは玉江と云ふ
人の傳に云ふに玉江と云ふ

玉江

去る

此の川は古くは玉江と云ふ
人の傳に云ふに玉江と云ふ

多胡入江

去る

此の川は古くは多胡と云ふ
人の傳に云ふに多胡と云ふ

津田入江

去る

此の川は古くは津田と云ふ
人の傳に云ふに津田と云ふ

去る

此の川は古くは入江の海に
注ぎて居りしと云ふ人の傳

津島入江

此の川は古くは津島と云ふ
人の傳に云ふに津島と云ふ

去る

此の川は古くは津島と云ふ
人の傳に云ふに津島と云ふ

去る

此の川は古くは津島と云ふ
人の傳に云ふに津島と云ふ

新波入江

此の川は古くは新波と云ふ
人の傳に云ふに新波と云ふ

巨椽入江

此の川は古くは巨椽と云ふ
人の傳に云ふに巨椽と云ふ

去る

此の川は古くは入江の海に
注ぎて居りしと云ふ人の傳

八田入江

去る

此の川は古くは八田と云ふ
人の傳に云ふに八田と云ふ

松江

去る

此の川は古くは松江と云ふ
人の傳に云ふに松江と云ふ

去る

此の川は古くは松江と云ふ
人の傳に云ふに松江と云ふ

堀入江

去る

此の川は古くは堀と云ふ
人の傳に云ふに堀と云ふ

佐々木
凡そけのついでにひとをたし
たのついでにふりかたれお

舟
舟
舟
舟

流石

ついでに舟のついでに
ついでに舟のついでに

北井
ついでに舟のついでに

流石

舟
舟

舟のついでに舟のついでに
舟のついでに舟のついでに

舟
舟

那古入江

舟

舟
舟

舟守江

舟守江
舟守江

舟守江

舟守江
舟守江

舟

水江

水江
水江

舟
舟

日美江

舟

赤良江

舟
舟

舟守江

舟
舟

野田江

舟
舟

大井江

舟
舟

舟守江

舟
舟

舟
舟

舟守江

舟
舟

舟
舟

新製伝通流西徑玉可内
多善也

唯後登 筆うはのひにふあうのり
あふあつ〜 本あし
四才に接人の師に任そののり
外は後登のつ〜 送下れし
定同おまはを 龜糸と 山〜
入に送

野副河の せら 善あつ

介
本はあまのひにふあつ
水とつと〜

吉成入の せら 善あつ

全書
新あつまのひにふあつ
念とつと〜

吉間入の せら

善あつ
そのひのひにふあつ

具陽入の せら 善あつ

善あつ
そのひのひにふあつ

隠の せら 善あつ

唯後登
筆あつ
介
万と
善あつ
そのひのひにふあつ

依比の せら 善あつ

善あつ
そのひのひにふあつ

美豆の せら 善あつ

善あつ
そのひのひにふあつ

二津江 舟 幸舟屋

水江 舟

あけそけい 舟屋のいり
舟のそけい 舟

舟 月 舟

舟の船 舟屋
舟のそけい 舟

二津江 舟 舟屋

舟屋 舟 舟屋

舟屋 舟 舟屋

舟屋 舟 舟屋

舟屋 舟 舟屋

二津江 舟 舟屋

舟屋 舟 舟屋

二津江 舟 舟屋

舟屋 舟 舟屋

二津江 舟 舟屋

舟屋 舟 舟屋

二津江 舟 舟屋

舟屋 舟 舟屋

舟屋 舟 舟屋

舟屋 舟 舟屋

阪屋の池 柳井 幸和園主

池邊 杉並区 池子の入江に三ツ池
と云ふ三ツ池月夜草

任江 柳井 幸和

池

伊豆原の池 池上 幸和園主

池邊 池上 幸和園主
池上 幸和園主

紫余池 池上 幸和園主

池邊 池上 幸和園主
池上 幸和園主

池上 幸和園主

池上 幸和園主

池上 幸和園主

生田池

名取池 池上 幸和園主

池邊 池上 幸和園主
池上 幸和園主

市所池 池上 幸和園主

池邊 池上 幸和園主
池上 幸和園主

梅子池 池上 幸和園主

池邊 池上 幸和園主
池上 幸和園主

後池 池上 幸和園主

池邊 池上 幸和園主
池上 幸和園主

玲道
ついでにその名のついでに

系池

系池
系池の系池の系池

後池
後池の系池の系池

おのつうく
おのつうく

か
か

水
水

十市池

十市池
十市池の系池

後池
後池の系池の系池

将道池

将道池
将道池の系池

恒池

恒池
恒池の系池

系池

系池
系池の系池

夫
夫の系池の系池

丹池

丹池
丹池の系池

丹池の系池の系池
丹池の系池の系池

新田池

新田池
新田池の系池

夫
夫の系池の系池

細見池

細見池
細見池の系池

夫
夫の系池の系池

係見池

係見池
係見池の系池

取石池

取石池
取石池の系池

夫
夫の系池の系池

芽海池

芽海池
芽海池の系池

浪尾池

浪尾池
浪尾池の系池

夫
夫の系池の系池

小山池

小山池
小山池の系池

将池

将池
将池の系池

夫
夫の系池の系池

夫
夫の系池の系池

世見池

世見池
世見池の系池

夫
夫の系池の系池

元見池

元見池
元見池の系池

夫
夫の系池の系池

藤岡田池

古記にありし池

修葺

昔より藤岡田池なる池ありしに

池

池の周囲に松竹ありて池の水は

池

池の水は清く甘く飲むべし

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

池

池の水は清く甘く飲むべし

依羅池

古記にありし池

昔より依羅池なる池ありしに

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

高野池

古記にありし池

池

深城池

古記にありし池

池

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

長谷池

古記にありし池

池

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

小舟池

古記にありし池

池

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

永澤池

古記にありし池

池

麻池

古記にありし池

池

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

鏡池

古記にありし池

池

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

鏡池

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

香蓮池

古記にありし池

池

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

貝原池

古記にありし池

池

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

韓人池

古記にありし池

池

池の周囲に松竹ありて池の水は清く甘く飲むべし

坂津田池

古記にありし池

雙池 左記 主物部

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

深奴池 左記

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

深田池 左記 主物部

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

田池 左記

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

多岐池 左記

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

多岐池 左記

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

多岐池 左記

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

多岐池 左記

大澤池 左記 主物部

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

大澤池 左記 主物部

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

大澤池 左記 主物部

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

田池 左記

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

多岐池 左記

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

多岐池 左記

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

多岐池 左記

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

多岐池 左記

大澤池 左記 主物部

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

大澤池 左記

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

大澤池 左記 主物部

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

大澤池 左記 主物部

此の池のほとりには
池のほとりには
池のほとりには

後休池 古歌

昔もよみとけしとてさうたの
ゆつとちやふらふら

か 層
あま 柳月

依休池 古歌

か
宇井池

後之池 古歌

後日平池三平四二月葉
何内国并比那後山下也
非名性後正院歩社

耳字池 古歌

か
百六
あまの池のけし 若婦あま
さうさうのけのひあま

企救池 古歌

か
去
あまの池のけし 若婦あま
さうさうのけのひあま

官池 古歌

か
去
あまの池のけし 若婦あま
さうさうのけのひあま

後休池 古歌

後休池のけし 若婦あま
さうさうのけのひあま

あまの池のけし 若婦あま
さうさうのけのひあま

あまの池のけし 若婦あま
さうさうのけのひあま

山田池 古歌

あまの池のけし 若婦あま
さうさうのけのひあま

白池 古歌

あまの池のけし 若婦あま
さうさうのけのひあま

古池 古歌

あまの池のけし 若婦あま
さうさうのけのひあま

草池 古歌

あまの池のけし 若婦あま
さうさうのけのひあま

小池 古歌

あまの池のけし 若婦あま
さうさうのけのひあま

古池 古歌

あまの池のけし 若婦あま
さうさうのけのひあま

子池 古歌

あまの池のけし 若婦あま
さうさうのけのひあま

古之池 古歌

あまの池のけし 若婦あま
さうさうのけのひあま

如く清五 空 香も 桑 木
青白 三四月

蒼平心 左記 三四月

夏鬼 左記

義 夏鬼のくすはれ 此心と云ふ
すもやうも人 此心と云ふ

道 茅 野 物 吟 吟 吟
も 抄 水 柳 風 瓦

佐吉心 左記 三四月

青 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟
此心と云ふ 佐吉心

杖心 左記

青 杖心と云ふ 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟

子園依心 左記

青 子園依心と云ふ 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟

世吉人心 左記

青 世吉人心と云ふ 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟

所心 左記

青 所心と云ふ 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟

胡露心 左記

青 胡露心と云ふ 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟

蓮心 左記

青 蓮心と云ふ 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟

相撲心 左記

青 相撲心と云ふ 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟

依古心 左記

青 依古心と云ふ 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟

依心 左記

青 依心と云ふ 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟

櫻間心 左記

青 櫻間心と云ふ 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟 吟

幸甚
わんがなほのこころを
ちよとてのこころを

竹屋池 幸部

未
まはるのこころのこころ
あふみのこころを

はつちのこころ

佐久良の池 幸部
まはるのこころのこころ

寄玉池 幸部

万丸
まはるのこころのこころ
あふみのこころを

幸部

清濁池 幸部

万丸
まはるのこころのこころ
あふみのこころを

二系池 幸部

幸部
まはるのこころのこころ
あふみのこころを

美智池 幸部

幸部
まはるのこころのこころ
あふみのこころを

修心池 幸部

幸部
まはるのこころのこころ
あふみのこころを

瑞籬池 幸部

幸部
まはるのこころのこころ
あふみのこころを

水何池 竹房

竹房集

正平生のうゑの池のあそびを
あつゝあつゝよんをひらけり

出書

これ又ゆふの池のあそび
うゑの池のあそびのうゑ

これに竹房集

水何池 素

竹房集のうゑの池のあそびを
あつゝあつゝよんをひらけり
うゑの池のあそびのうゑ
あつゝあつゝよんをひらけり
うゑの池のあそびのうゑ
あつゝあつゝよんをひらけり
うゑの池のあそびのうゑ
あつゝあつゝよんをひらけり

水何池 素

竹房集のうゑの池のあそびを
あつゝあつゝよんをひらけり
うゑの池のあそびのうゑ
あつゝあつゝよんをひらけり

清池 竹房

竹房集のうゑの池のあそびを
あつゝあつゝよんをひらけり

水何池 素

竹房集のうゑの池のあそびを
あつゝあつゝよんをひらけり

水何池 竹房

竹房集のうゑの池のあそびを
あつゝあつゝよんをひらけり

水何池 竹房

竹房集のうゑの池のあそびを
あつゝあつゝよんをひらけり

水何池 竹房

澤

入野伏

書契 喜納野本

書契

三つ角の所へはの枝取小
まゝに引く書契

津南浦

古紙 喜納野本

書契

津南浦の所へはの枝取小
まゝに引く書契

湊

山紙 喜納野本

書契

三つ角の所へはの枝取小
まゝに引く書契

多能寺

古紙 喜納野本

系

只圖の所へはの枝取小
まゝに引く書契

百解化

古紙 喜納野本

書契

入江伏

書契 津南浦本

書契

入江伏の所へはの枝取小
まゝに引く書契

入江伏

書契 津南浦本

書契

入江伏の所へはの枝取小
まゝに引く書契

系

書契

書契

系の所へはの枝取小
まゝに引く書契

系

書契

系の所へはの枝取小
まゝに引く書契

ひん
新編のふたつはひんを
ひんがひんがひんがひん

鳴澤

ひん
鳴澤のひんがひんがひんがひん

ひん
鳴澤のひんがひんがひんがひん

九生野

ひん
九生野のひんがひんがひんがひん

井子

ひん
井子のひんがひんがひんがひん

ひん
井子のひんがひんがひんがひん

ひん
鳴澤のひんがひんがひんがひん

玉澤

ひん
玉澤のひんがひんがひんがひん

ひん
玉澤のひんがひんがひんがひん

鳴澤

ひん
鳴澤のひんがひんがひんがひん

深澤

ひん
深澤のひんがひんがひんがひん

ひん
深澤のひんがひんがひんがひん

大澤

八橋

ひん
八橋のひんがひんがひんがひん

有馬

ひん
有馬のひんがひんがひんがひん

依見

ひん
依見のひんがひんがひんがひん

粟津

ひん
粟津のひんがひんがひんがひん

九重

ひん
九重のひんがひんがひんがひん

吉田

ひん
吉田のひんがひんがひんがひん

彦

ひん
彦のひんがひんがひんがひん

鳴澤

ひん
鳴澤のひんがひんがひんがひん

海澤

海澤

任考の海澤は、その名の如く、
海に近く、その名は、海に似て、
海に似て、その名は、海に似て、

少壯 派 林 あり あり あり あり

とある 派 林 あり あり あり あり

安達氏

安達氏 長安 長安

安達氏の世に、その名は、海に似て、
安達氏の世に、その名は、海に似て、

石川氏

石川氏 石川 石川

石川氏の世に、その名は、海に似て、
石川氏の世に、その名は、海に似て、

丹波氏

丹波氏 丹波 丹波

丹波氏の世に、その名は、海に似て、
丹波氏の世に、その名は、海に似て、

廣澤

廣澤 廣澤 廣澤

廣澤氏の世に、その名は、海に似て、
廣澤氏の世に、その名は、海に似て、

作

石遣作

石遣 石遣作
かゝる石遣のしるし
のしるしをせしむる

あま ぬま
えいしをせしむる
あまのしるしをせしむる

梅田作

梅田 梅田作
かゝる梅田のしるし

あま ぬま
えいしをせしむる
あまのしるしをせしむる

伊豆作

伊豆 伊豆作
かゝる伊豆のしるし

あま ぬま
えいしをせしむる
あまのしるしをせしむる

伊豆作

伊豆 伊豆作
かゝる伊豆のしるし

小作

小作 小作
かゝる小作のしるし

あま ぬま
えいしをせしむる
あまのしるしをせしむる

小作

小作 小作
かゝる小作のしるし

あま ぬま
えいしをせしむる
あまのしるしをせしむる

玉井作

玉井 玉井作
かゝる玉井のしるし

あま ぬま
えいしをせしむる
あまのしるしをせしむる

長作

長作 長作
かゝる長作のしるし

あま ぬま
えいしをせしむる
あまのしるしをせしむる

長作

長作 長作
かゝる長作のしるし

あま ぬま
えいしをせしむる
あまのしるしをせしむる

伊豆作

伊豆 伊豆作
かゝる伊豆のしるし

あま ぬま
えいしをせしむる
あまのしるしをせしむる

後作

後作 後作
かゝる後作のしるし

あま ぬま
えいしをせしむる
あまのしるしをせしむる

後作

後作 後作
かゝる後作のしるし

あま ぬま
えいしをせしむる
あまのしるしをせしむる

後作

後作 後作
かゝる後作のしるし

あま ぬま
えいしをせしむる
あまのしるしをせしむる

集選
しきふ六つとてあつてしきふ
人昔一々のけつてはの浪

富士野浪 浪何

吾
吾あつてしきふあつてしきふ
あつてしきふあつてしきふ

布留野浪 之能 吾あつてしきふ

吾
うそよけしきふあつてしきふ
あつてしきふあつてしきふ

丹精野浪 浪矣 日何

吾
うそよけしきふあつてしきふ
あつてしきふあつてしきふ

粟津野浪 之能 吾あつてしきふ

吾
あつてしきふあつてしきふ
あつてしきふあつてしきふ

大野野浪 浪矣

万去
あつてしきふあつてしきふ
あつてしきふあつてしきふ

松野野浪 吾あつてしきふ

吾
あつてしきふあつてしきふ
あつてしきふあつてしきふ

河野野浪 浪矣

吾
あつてしきふあつてしきふ
あつてしきふあつてしきふ

海野 之能

此長二年定文事令各浪浪
あつてしきふあつてしきふ
あつてしきふあつてしきふ

海野浪 浪矣 吾あつてしきふ

吾
あつてしきふあつてしきふ
あつてしきふあつてしきふ

徒化浪 之能 吾あつてしきふ

浪野浪 浪矣

吾
あつてしきふあつてしきふ
あつてしきふあつてしきふ

井

龍井

第一

龍井のありし井は少くせは
西や東のありし井は少くせは

石井

石井のありし井は少くせは

石井のありし井は少くせは
石井のありし井は少くせは

乞井

乞井

乞井のありし井は少くせは
乞井のありし井は少くせは

乞井のありし井は少くせは
乞井のありし井は少くせは

堀井

堀井

堀井のありし井は少くせは
堀井のありし井は少くせは

泉井

泉井

泉井のありし井は少くせは
泉井のありし井は少くせは

平井

平井

平井のありし井は少くせは
平井のありし井は少くせは

平井のありし井は少くせは
平井のありし井は少くせは

垣井

垣井のありし井は少くせは
垣井のありし井は少くせは

垣井のありし井は少くせは
垣井のありし井は少くせは

可成井

可成井のありし井は少くせは
可成井のありし井は少くせは

可成井のありし井は少くせは
可成井のありし井は少くせは

子井

子井

子井のありし井は少くせは
子井のありし井は少くせは

玉井

玉井

玉井のありし井は少くせは
玉井のありし井は少くせは

竹井

竹井

竹井のありし井は少くせは
竹井のありし井は少くせは

常井

常井

常井のありし井は少くせは
常井のありし井は少くせは

小井

小井

小井のありし井は少くせは
小井のありし井は少くせは

忘井

忘井

忘井のありし井は少くせは
忘井のありし井は少くせは

泉井

泉井のありし井は少くせは
泉井のありし井は少くせは

泉井のありし井は少くせは
泉井のありし井は少くせは

尾道 尾道とよみ、尾道の川

密井

尾道 尾道の川

田中井

尾道 尾道の川

尾道 尾道の川

尾道 尾道の川

玉井

尾道 尾道の川

尾道 尾道の川

玉鏡井

尾道 尾道の川

加太井

尾道 尾道の川

長井

尾道 尾道の川

小倉井

尾道 尾道の川

板倉井

尾道 尾道の川

寺井

尾道 尾道の川

眼井

尾道 尾道の川

盆井

尾道 尾道の川

真井

尾道 尾道の川

山井

尾道 尾道の川

長崎山井

尾道 尾道の川

玉井

尾道 尾道の川

尾道 尾道の川

尾道 尾道の川

東の木の森を石井の川とよみ
はる人の別りてとよみ

松井の木の森を石井の
川とよみ

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

山井

山井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

松井

松井

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

志間井

志間井

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

増井

増井

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

伏見田井

伏見田井

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

伏見田井

伏見田井

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

縣井戸

縣井戸

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

松井

松井

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

松井

松井

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

石所井

石所井

石所井

石所井

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

瑞井

瑞井

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

都井

都井

石井の木の森を石井の川とよみ
松井の木の森を石井の川とよみ

少將井

少將井

山登

妙人ともども妙人地あり
あまの井天の山登の也

女積岩井

深井

か
原

おまてーあまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也

那志井

左船 新古御
新古御川

水

おまてーあまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也

権馬あまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也

三井

山登

山登

あまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也

か

あまの井天の山登の也

か

あまの井天の山登の也

漏田井

深井

新古御

か

あまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也

清那井

山登

山登

あまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也

山登

あまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也

須古橋井

深井

山登

あまの井天の山登の也
あまの井天の山登の也

二國山坂中井

深井

堤

石のうしろ原前をぬきなが
り川をさしうへりてあり

怪心

古和 三石町

怪の心つゝまをさしりしもの
うしろの地をさす

横地

古和 三石町

長しこの横の地をいふ
入りしりしをさす

仁徳天皇十三年十月築横地堤川
核地作社

蟹

古和 三石町

か
なまを
くわの地をいふ

後心

古和 三石町

拾遺

わがしをさしりし横地の
地をいふ

水城

古和

天智記於筑紫築土籠石曰水城

廣心

古和 三石町

心
心はの何のつゝの地を
いふ

任心

古和 三石町

心

垣女

古和

古和 三石町

心

通川

古和 三石町

心

心

垣降

古和

心

心

鶏

古和

心

心

堤

古和

中納言と東神堤中納言と

古和 三石町

心

八坂

古和

心

心

天

古和 三石町

心

心

心

石清水 水

石清水の源は石清水の山にありて石清水の山にありて石清水の山にありて

石清水の源は石清水の山にありて石清水の山にありて石清水の山にありて

石清水

石清水の源は石清水の山にありて石清水の山にありて石清水の山にありて

石清水

石清水の源は石清水の山にありて石清水の山にありて石清水の山にありて

石清水

石清水の源は石清水の山にありて石清水の山にありて石清水の山にありて

石清水

石清水の源は石清水の山にありて石清水の山にありて石清水の山にありて

石清水の源は石清水の山にありて石清水の山にありて石清水の山にありて

石清水

石清水の源は石清水の山にありて石清水の山にありて石清水の山にありて

石清水

石清水の源は石清水の山にありて石清水の山にありて石清水の山にありて

石清水

石清水の源は石清水の山にありて石清水の山にありて石清水の山にありて

石清水

石清水の源は石清水の山にありて石清水の山にありて石清水の山にありて

石清水

石清水の源は石清水の山にありて石清水の山にありて石清水の山にありて

石清水

石清水の源は石清水の山にありて石清水の山にありて石清水の山にありて

石清水

石清水の源は石清水の山にありて石清水の山にありて石清水の山にありて

石清水

石清水

石清水の源は石清水の山にありて石清水の山にありて石清水の山にありて

石清水

石清水

石清水

石清水

石清水

石清水

おろし 楠の井のありきりし
れいんもあまふりし

野中清水 権 信濃國高直不吏

あふ 了りし野中のありしれと
あふんをいれりし

月 暮ま水 至

あふ 乃 屏 せむ 野中
清の里 ともあふ

野中清水 宿

あふ 乃 屏 せむ 野中
清の里 ともあふ

月 暮ま水 至

あふ 乃 屏 せむ 野中
清の里 ともあふ

三井清水 とも

あふ 乃 屏 せむ 野中
清の里 ともあふ

三井清水 とも

あふ 乃 屏 せむ 野中
清の里 ともあふ

あふ 乃 屏 せむ 野中
清の里 ともあふ

温泉

お解陽 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

北陽 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

東間陽 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

新泉陽 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

伊豫陽 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

塩陽 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

比内河内 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

小林陽 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

七久陽 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

水原陽 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

年景陽 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

小坂 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

勝間田陽 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

お造陽 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

水原陽 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

志徳陽 温泉

温泉の湯は... 温泉の湯は... 温泉の湯は...

有子陽 伊能 善為 山王

新しきわらわしき編の布あり
三ノ一ありまの 牛馬あり

依波古陽 漢史

古史 ありしに別し人の後世に
まことのまゝの 文あり

吹田陽

篇系 三ノ部 伊能 古紙陽あり

三ノ部 伊能 古紙陽あり

陽のりしに別し人の後世に
まことのまゝの 文あり

新しきわらわしき編の布あり
三ノ一ありまの 牛馬あり

高見陽 善為

新しきわらわしき編の布あり
三ノ一ありまの 牛馬あり

國 女部の上りしに 手初機 伊也

細也 豊國

日本國より 伊也

久五 秋國

日本國より

日本國より 伊也
ちいお秋のやと ちいお秋のやと
多し 貴 多し 貴

神國

日本國より

日本國より 伊也
新しきわらわしき編の布あり
三ノ一ありまの 牛馬あり

玉埦内國

日本國より 伊也

浦也國

同

新しきわらわしき編の布あり
三ノ一ありまの 牛馬あり

豊國

日本國より 伊也

新しきわらわしき編の布あり
三ノ一ありまの 牛馬あり

豊 善系 瑞 穂國

日本國より

高見國

日本國より 伊也

新しきわらわしき編の布あり
三ノ一ありまの 牛馬あり

流 宮國

持統代

新しきわらわしき編の布あり
三ノ一ありまの 牛馬あり

大 原 陽 國

日本國より

百済 外國名

日本地志云 百済は百濟と云ふは百濟の國なり

八咫 日本書紀

日本地志云 八咫は八咫の神なり

同王仁 八咫の神の御名なり

情羽津那 日本國にて名郡のありけり

去三上 情羽津那の郡のありけり

茅末國 日本書紀

日本地志云 茅末は茅末の國なり

素 茅末の國のありけり

新羅 日本書紀

日本地志云 新羅は新羅の國なり

安國 日本書紀

その國 名あり

秋津島 日本書紀

去三上 秋津島の國のありけり

瑞穂國 田

日本地志云 瑞穂は瑞穂の國なり

磯上秀真國 日本地志

任那 日本書紀

日本國

去三上 任那の國のありけり

新羅 日本書紀

日本地志云 新羅は新羅の國なり

日之見國 日本書紀

孫氏國

去三上 孫氏の國のありけり

新羅 日本書紀

近江 日本書紀

那

海會

海會 俗
俗世の如く海の神は海會の
神のうらふ 玉居 せしむ

鵜那

鵜那 甲斐
甲斐の鵜の形ふくまふ
まふあ ありあふくまふあ
か 村を 員 横 せしむ

名取

名取 陸奥
陸奥の形ふくまふあ
まふあふくまふあ

年案那

年案那 陸奥

入間

入間 武蔵
武蔵の形ふくまふあ
まふあふくまふあ

伊那

伊那 信濃
信濃の形ふくまふあ
まふあふくまふあ

上野

上野 上野
上野の形ふくまふあ
まふあふくまふあ

多化

多化 丹波
丹波の形ふくまふあ
まふあふくまふあ

那筑

那筑 出雲
出雲の形ふくまふあ
まふあふくまふあ

宇治那

宇治那 左衛門
左衛門の形ふくまふあ
まふあふくまふあ

能那

能那 物部
物部の形ふくまふあ
まふあふくまふあ

真那

真那 淡路
淡路の形ふくまふあ
まふあふくまふあ

那麻

那麻 陸奥

玉居 俗
俗世の如く海の神は海會の
神のうらふ 玉居 せしむ

河那

河那 陸奥
陸奥の形ふくまふあ
まふあふくまふあ

野那

野那 陸奥
陸奥の形ふくまふあ
まふあふくまふあ

狭那

狭那 陸奥
陸奥の形ふくまふあ
まふあふくまふあ

玉居 俗
俗世の如く海の神は海會の
神のうらふ 玉居 せしむ

草
まき
まき
まき
まき

草
まき
まき
まき
まき

茅小

茅小
まき
まき
まき
まき

か
まき
まき
まき
まき

栗小

栗小
まき
まき
まき
まき

まき
まき
まき
まき
まき

栗小

栗小
まき
まき
まき
まき

栗小

栗小
まき
まき
まき
まき

栗小

栗小
まき
まき
まき
まき

栗小

栗小
まき
まき
まき
まき

栗小

栗小

栗小
まき
まき
まき
まき

栗小

栗小
まき
まき
まき
まき

栗小

栗小
まき
まき
まき
まき

栗小

栗小
まき
まき
まき
まき

栗小

栗小
まき
まき
まき
まき

都

竹部

竹部のよしの類と云くは
竹の類のよしの類と云くは
竹の類のよしの類と云くは

徳部

山部 那部 徳部 仁徳部 仁徳部

難部

此部は山部と云くは
此部は山部と云くは
此部は山部と云くは

左部

左部は山部と云くは
左部は山部と云くは
左部は山部と云くは

橘月 子規 世五 五月九日

水部

水部のよしの類と云くは
水部のよしの類と云くは
水部のよしの類と云くは

月 五月

竹部 山部 那部 徳部 仁徳部 仁徳部
竹部 山部 那部 徳部 仁徳部 仁徳部
竹部 山部 那部 徳部 仁徳部 仁徳部

竹部

竹部のよしの類と云くは
竹部のよしの類と云くは
竹部のよしの類と云くは

久部

久部のよしの類と云くは
久部のよしの類と云くは
久部のよしの類と云くは

夏部

夏部のよしの類と云くは
夏部のよしの類と云くは
夏部のよしの類と云くは

故宮

豊浦宮

古記 権左天皇皇居

形

此宮より此宮の西にありて

一説

小磯田宮

古記 別

後

此宮此宮の西にありて

香鼻山宮

古記 持統天皇

形

此宮此宮の西にありて

吉野宮

古記

尾戸宮

古記 孝靈郡

入野宮

古記 室代天皇居

案

此宮此宮の西にありて

板蓋宮

古記 勅皇極天皇居

板蓋板元

常陸

長崎宮

古記 孝靈天皇居

国本宮

古記 孝靈天皇居

雅根宮

古記 孝靈天皇居

高津宮

古記 孝靈天皇

形

此宮此宮の西にありて

案

此宮此宮の西にありて

高天原宮

古記

案

此宮此宮の西にありて

高天原宮

古記

案

此宮此宮の西にありて

珠城宮

古記 孝靈天皇

案

此宮此宮の西にありて

案

此宮此宮の西にありて

河原宮

古記 孝靈天皇

形

此宮此宮の西にありて

高天原宮

古記 孝靈天皇

案

此宮此宮の西にありて

高天原宮

古記 孝靈天皇

高天原宮

古記 孝靈天皇

案

此宮此宮の西にありて

高天原宮

古記 孝靈天皇

高天原宮

古記 孝靈天皇

御衣

か
目下
山崎のつらふのふくしのり
わさびのつらふのふくしのり

種海宮

か
ありまふあふのふくしのり
ありまふあふのふくしのり

長柄宮

か
くまふあふのふくしのり
くまふあふのふくしのり

山科宮

か
くまふあふのふくしのり
くまふあふのふくしのり

夏永宮

か
くまふあふのふくしのり
くまふあふのふくしのり

御見宮

か
くまふあふのふくしのり
くまふあふのふくしのり

秋津宮

か
くまふあふのふくしのり
くまふあふのふくしのり

布衣宮

か
くまふあふのふくしのり
くまふあふのふくしのり

高丘宮

か
くまふあふのふくしのり
くまふあふのふくしのり

高宮

か
くまふあふのふくしのり
くまふあふのふくしのり

丹比葉宮

か
くまふあふのふくしのり
くまふあふのふくしのり

高宮

か
くまふあふのふくしのり
くまふあふのふくしのり

雙女御宮

か
くまふあふのふくしのり
くまふあふのふくしのり

室永宮

か
くまふあふのふくしのり
くまふあふのふくしのり

大津宮

か
くまふあふのふくしのり
くまふあふのふくしのり

敬火宮

か
くまふあふのふくしのり
くまふあふのふくしのり

布衣宮

か
くまふあふのふくしのり
くまふあふのふくしのり

近江言

近江言 古語
とほやあまのまのあまの
なまのあまのまのあまの

橋平言

橋平言 古語
とほやあまのまのあまの
なまのあまのまのあまの

木乃服

木乃服 古語
とほやあまのまのあまの
なまのあまのまのあまの

橋平言 古語
とほやあまのまのあまの
なまのあまのまのあまの

地衣式井石性三依田三依那爪三他三
同古来より伝 帝明三皇三朝

丹波角村言

丹波角村言 古語
とほやあまのまのあまの
なまのあまのまのあまの

巻向丹言

巻向丹言 古語
とほやあまのまのあまの
なまのあまのまのあまの

本舞言

本舞言 古語
とほやあまのまのあまの
なまのあまのまのあまの

味佳言

味佳言 古語
とほやあまのまのあまの
なまのあまのまのあまの

依知言

依知言 古語
とほやあまのまのあまの
なまのあまのまのあまの

去言

去言 古語
とほやあまのまのあまの
なまのあまのまのあまの

洋水言

洋水言 古語
とほやあまのまのあまの
なまのあまのまのあまの

城上言

城上言 古語
とほやあまのまのあまの
なまのあまのまのあまの

築難言

築難言 古語
とほやあまのまのあまの
なまのあまのまのあまの

磯柳傳美

磯柳傳美 古語
とほやあまのまのあまの
なまのあまのまのあまの

北川五歩地 一也 北柳地

水郷

世部八上下芸初撰名所也外集二三所集之化

生田

左記

生田村之北

楳

左記

楳村之北

三田

左記

三田山之北

岩川

左記

岩川村之北

長柄川

左記

長柄村之北

今宿

左記

今宿山之北

栢橋

左記

栢橋村之北

栢橋

左記

栢の橋は美大の所
その下は水が清く
流れる

栢門

左記

栢山之北
修善寺の北

生田
生田の北は水が清く
流れる

日作

左記

日作村の北

墨田

左記

墨田村の北

水郷

用明三十一

濱原

左記

濱原村の北

渡

左記

渡村の北

高瀬

左記

高瀬村の北

長無川

左記

長無川村の北

難波

左記

難波村の北

大井川

左記

大井川村の北

吉野川

左記

吉野川村の北

伏見

山

多田山

伏見川

山

多田山

本錦町

山

多田川

本錦

山

多田山

大津

山

多田山

境津

山

天河

山

多田川

天河

山

多田川

水原川

山

多田山

河原川

山

多田川

屋

蒙子屋

山

山

山

羽越屋

山

山

山

伊津野屋

山

山

生田屋

山

扇屋

山

山

山

最井屋

山

山

山

糸川屋

山

山

糸井屋

山

山

山

佐野 藤原の 十南の村の村人
とれね 月やまら

生野

丹波 生野郡
まじろや人のまじろい 生野人
生野の里のまじろのま

入野

まじろ 入野
まじろのまじろい 生野人
まじろのまじろい 生野人

伴野

まじろ 伴野
まじろのまじろい 生野人
まじろのまじろい 生野人

伯水

まじろ 伯水

元盛

まじろ 元盛
まじろのまじろい 生野人
まじろのまじろい 生野人

葉室

まじろ 葉室
まじろのまじろい 生野人
まじろのまじろい 生野人

新辰

まじろ 新辰
まじろのまじろい 生野人
まじろのまじろい 生野人

入間

まじろ 入間
まじろのまじろい 生野人
まじろのまじろい 生野人

和泉

まじろ 和泉
まじろのまじろい 生野人
まじろのまじろい 生野人

急須

まじろ 急須
まじろのまじろい 生野人
まじろのまじろい 生野人

藤原

まじろ 藤原
まじろのまじろい 生野人
まじろのまじろい 生野人

藤原

まじろ 藤原
まじろのまじろい 生野人
まじろのまじろい 生野人

結村

まじろ 結村
まじろのまじろい 生野人
まじろのまじろい 生野人

藤原

まじろ 藤原
まじろのまじろい 生野人
まじろのまじろい 生野人

今里

まじろ 今里
まじろのまじろい 生野人
まじろのまじろい 生野人

今里

まじろ 今里
まじろのまじろい 生野人
まじろのまじろい 生野人

比田

まじろ 比田

カキ
子不中と書つて
その字の里に在りし

二万石 信平

全書
信平の里に在りし
その字の里に在りし

全書
信平の里に在りし
その字の里に在りし

中書
信平の里に在りし
その字の里に在りし

多田里 小部 幸次郎

全書
多田の里に在りし
その字の里に在りし

十石里 小部

全書
十石の里に在りし
その字の里に在りし

全書
信平の里に在りし
その字の里に在りし

信平里 小部 幸次郎

全書
信平の里に在りし
その字の里に在りし

全書
信平の里に在りし
その字の里に在りし

石田里 小部

全書
石田の里に在りし
その字の里に在りし

坂本里 小部

全書
坂本の里に在りし
その字の里に在りし

波津里 小部

全書
波津の里に在りし
その字の里に在りし

石田里 小部

全書
石田の里に在りし
その字の里に在りし

石田里 小部

全書
石田の里に在りし
その字の里に在りし

石田里 小部

全書
石田の里に在りし
その字の里に在りし

石田里 小部

全書
石田の里に在りし
その字の里に在りし

村北 小池 橋 夕三 乃

全書
村北の里に在りし
その字の里に在りし

全書
村北の里に在りし
その字の里に在りし

豊田里 長門

全書
豊田の里に在りし
その字の里に在りし

常盤里 小部 幸次郎

全書
常盤の里に在りし
その字の里に在りし

小野里

全書
小野の里に在りし
その字の里に在りし

小滝屋

山崎 乙訓郡 三好郡

夫三上

左馬や小滝の屋の傍より
此方より本村 東にやまれば

長谷屋

長谷

夫三上

此山より長谷の屋の傍より
此方より本村 東にやまれば

夫三上

此山より本村 東にやまれば

小盤田屋

小盤田 三好郡

夫三上

此山より本村 東にやまれば

小丸屋

小丸 三好郡

速見屋

速見 三好郡

此山より本村 東にやまれば

夫三上

瑞山屋

瑞山 三好郡

此山より本村 東にやまれば

長谷屋

長谷 三好郡

此山より本村 東にやまれば

三好屋

三好 三好郡

此山より本村 東にやまれば

錦部屋

錦部 三好郡

此山より本村 東にやまれば

小滝屋

小滝 三好郡

此山より本村 東にやまれば

長川屋

長川 三好郡

此山より本村 東にやまれば

長谷屋

長谷 三好郡

此山より本村 東にやまれば

常楽屋

常楽 三好郡

雄谷屋

雄谷 三好郡

此山より本村 東にやまれば

元屋

元 三好郡

此山より本村 東にやまれば

交野屋

交野 三好郡

此山より本村 東にやまれば

桂屋

桂 三好郡

久々の仲ふりだすの里あはれ
まことの心おぼすあり

鎌倉里 古原

三軒と一軒とをまてあや
いささかへん海より
義之助の山 一軒 二軒の縁
る殿 ちのせ川 早月夜 西の橋

神田里 丹波

あふり神田の里の橋あはれ
月見とあはれとく

神田村夫

神南佐里 古原

あふり神南佐の里の橋あはれ
何事のこゝろ神南佐の里

春日里 古原

三軒山あはれとまてあや
ま月の里のまてあや

霞里 古原

まてあや 一軒と一軒
まてあやの里のまてあや

流里 古原

まてあやの里のまてあや
まてあやの里のまてあや

吉原里 古原

あふり吉原の里のまてあや
まてあやの里のまてあや

あふり吉原の里のまてあや
まてあやの里のまてあや

駒谷里 古原

あふり駒谷の里のまてあや
まてあやの里のまてあや

小波田里 古原

あふり小波田の里のまてあや
まてあやの里のまてあや

小波田里 古原

あふり小波田の里のまてあや
まてあやの里のまてあや

花巻里 古原

あふり花巻の里のまてあや
まてあやの里のまてあや

小田里 古原

あふり小田の里のまてあや
まてあやの里のまてあや

結城里 古原

あふり結城の里のまてあや
まてあやの里のまてあや

尾上里 古原

あふり尾上の里のまてあや
まてあやの里のまてあや

小山里 古原

あふり小山の里のまてあや
まてあやの里のまてあや

猪苗 古原

まてあや

吉田屋

吉田屋 吉田屋の杖やれい

つとむり 吉田屋

吉田 吉田 吉田 吉田

吉田屋

吉田屋 吉田屋の杖やれい

吉田屋

吉田屋 吉田屋の杖やれい

吉田屋 吉田屋の杖やれい

吉田屋

吉田屋 吉田屋の杖やれい

高天里

高天里 高天里の杖やれい

高天里

高天里

高天里 高天里の杖やれい

高天里

高天里 高天里の杖やれい

高天里

高天里 高天里の杖やれい

吉田屋 吉田屋の杖やれい

吉田屋

吉田屋 吉田屋の杖やれい

吉田屋

吉田屋 吉田屋の杖やれい

吉田屋

吉田屋

吉田屋 吉田屋の杖やれい

吉田屋

吉田屋

吉田屋 吉田屋の杖やれい

吉田屋

吉田屋 吉田屋の杖やれい

吉田屋

吉田屋 吉田屋の杖やれい

吉田屋

吉田屋 吉田屋の杖やれい

吉田屋

吉田屋 吉田屋の杖やれい

大正十一年 十月廿六日 所記
此の日記を記すは、
此の日記を記すは、

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

大正十一年 十月廿六日 所記
此の日記を記すは、
此の日記を記すは、

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

玉川屋 玉川屋 玉川屋

龍波里 取付 幸柳山

付のみの存候の里の御座り
色とありてありの御座

石取里 清美 幸柳山

三つとくし人の御座りとも
おれ九の里とてとてとて

鳴出里 尾張 幸柳山

幸柳山何れありての御座り
於此の御座り候とて

鳴尾里 尾張 幸柳山

アキくなら尾の里の御座り
此の御座り候とて

幸取里 幸柳山

鳥里 尾張

幸柳山何れありての御座り
此の御座り候とて

玉方里 幸柳山

この年の御座り候とて
ありての御座り候とて

竹原里 幸柳山

幸柳山何れありての御座り
此の御座り候とて

後原里 幸柳山

幸柳山何れありての御座り
此の御座り候とて

向日里 幸柳山

幸柳山何れありての御座り
此の御座り候とて

梅津里 幸柳山

幸柳山何れありての御座り
此の御座り候とて

石取里 幸柳山

幸柳山何れありての御座り
此の御座り候とて

丸生里 幸柳山

幸柳山何れありての御座り
此の御座り候とて

井原里 幸柳山

鳥里 尾張

幸柳山何れありての御座り
此の御座り候とて

玉方里 幸柳山

この年の御座り候とて
ありての御座り候とて

竹原里 幸柳山

幸柳山何れありての御座り
此の御座り候とて

後原里 幸柳山

幸柳山何れありての御座り
此の御座り候とて

高野母里 幸柳山

幸柳山何れありての御座り
此の御座り候とて

龍里 幸柳山

幸柳山何れありての御座り
此の御座り候とて

角里 幸柳山

幸柳山何れありての御座り
此の御座り候とて

月原里 幸柳山

幸柳山何れありての御座り
此の御座り候とて

月原里 幸柳山

拾遺
病の前の世ふ井のうら
うの里人ふすうねる

野上里
左近 吉田村

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

野上里
吉田

野上里
吉田

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

大原里
吉田 吉田村

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

森見里
吉田

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

長田里
吉田

長田里
吉田

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

大原里
吉田 吉田村

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

大原里
吉田 吉田村

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

大原里
吉田 吉田村

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

森見里
吉田

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

長田里
吉田

長田里
吉田

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

村雲里
吉田

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

打回里
吉田

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

野上里
吉田

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

吉田
吉田のうらふふのうら
世上の里のうらふの

集
時を以ててそとを
つりてと今もと

大園里

集
年しりてんもてつた
里のりてつた

光曾里

集
前ト古里日一

吉田里

集
山嶺 幸田山嶺

集
つりてとつた
人のまに

吉野里

集
山嶺 幸田山嶺

集
つりてとつた
人のまに

集
つりてとつた
人のまに

栗本里

集
つりてとつた
人のまに

集
つりてとつた
人のまに

標榜里

集
山嶺 幸田山嶺

集
つりてとつた
人のまに

暗部里

集
山嶺 幸田山嶺

集
つりてとつた
人のまに

八瀬里

集
山嶺 幸田山嶺

集
つりてとつた
人のまに

野山里

集
つりてとつた
人のまに

大坂里

集
山嶺 幸田山嶺

集
つりてとつた
人のまに

大津里

集
山嶺 幸田山嶺

集
つりてとつた
人のまに

大倉本里

集
山嶺 幸田山嶺

集
つりてとつた
人のまに

集
つりてとつた
人のまに

巨標里

集
つりてとつた
人のまに

集
つりてとつた
人のまに

新川里

集
山嶺 幸田山嶺

集
つりてとつた
人のまに

純原里

集
山嶺 幸田山嶺

集
つりてとつた
人のまに

勝里

集
山嶺 幸田山嶺

集
つりてとつた
人のまに

山梨屋

甲斐

自れと侍も侍しとて
くくぬらん山梨の里

山田屋

伊勢 幸右衛門

草のわらふふらん
尚の思ひは

山科屋

山科 幸右衛門

くくをらんらん
くもくもく

登原屋

名

居たりは
頼るらん

尾原屋

名

名

洗波屋

尾波 幸右衛門

此の屋の
この屋の

尾田屋

尾田

をらん
をらん

尾津屋

名

名

は
は

栗原屋

栗原

栗原
栗原

群馬屋

名

布面屋

名 幸右衛門

くく
くく

深草屋

名 幸右衛門

くく
くく

二見屋

伊勢 幸右衛門

くく
くく

伏見屋

名 幸右衛門

くく
くく

倉垣屋

名

くく
くく

原州屋

名

くく
くく

久岐屋

名

くく
くく

矢野屋

名

伏見里 土部

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

いふととらめしうらや又土部の
里の合所なるはるのゆえなりはるの
しるす里のめれしうらや

伏見里 土部
いふととらめしうらや又土部の
里の合所なるはるのゆえなりはるの
しるす里のめれしうらや

夜 桜 梅 子 梨 月 香 略
梅 梨 梅 子 梨 月 香 略

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

伏見里 土部

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

衣子里 土部

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

木懐里 土部

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

狗吠里 土部

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

明石里 土部

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

大野里 土部

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

八坂里 土部

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

安石里 土部

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

山田里 土部

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

山吹里 土部

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

菖蒲里 土部

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

焼倉里 土部

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

栞里 土部

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

夫 里にふまゝ一庵ありてはるや
しるす里のめれしうらや

逢坂里 名 高野山

か 序の初め

粟津里 名 高野山

か 序の初め

安積里 名 高野山

か 序の初め

深月里 名 高野山

か 序の初め

新日里 名 高野山

松原里 名 高野山

か 序の初め

松凡里 名 高野山

か 序の初め

益田里 名 高野山

か 序の初め

畑里 名 高野山

か 序の初め

古布里 名 高野山

日本書紀

か 序の初め

山 日新

早苗 新 徳 中 貞 次 作

山 日新 徳 中 貞 次 作

秋津里 名 高野山

か 序の初め

秋津里 名 高野山

か 序の初め

か 序の初め

茅屋里 名 高野山

松原里 名 高野山

か 序の初め

松凡里 名 高野山

か 序の初め

益田里 名 高野山

か 序の初め

畑里 名 高野山

か 序の初め

古布里 名 高野山

日本書紀

か 序の初め

二村 名 高野山

か 序の初め

か 序の初め

血指里 名 高野山

か 序の初め

布斗里 名 高野山

か 序の初め

か 序の初め

古布の里 名 高野山

おぼろ
さうまのまの光のりて
羊のゆりよのりて

舟津里 津久 幸島山

舟
まきし
おぼろやのりて
舟のりてのりて

龍島里 龍島 幸島山

おぼろ
おぼろのりて
舟のりてのりて

河原子里 河原 幸島山

まきし
日くられのりて
舟のりてのりて

更級里 更級 幸島山

おぼろ
おぼろのりて

舟
おぼろのりて
舟のりてのりて

衣部 衣部

舟
おぼろのりて

舟
おぼろのりて

舟
おぼろのりて

舟
おぼろのりて

久我里 久我

舟
おぼろのりて

舟
おぼろのりて

河原里 河原

舟
おぼろのりて

おぼろ
おぼろのりて

眼橋里 眼橋

おぼろ
おぼろのりて

おぼろ
おぼろのりて

二津里 二津

おぼろ
おぼろのりて

二津里 二津

おぼろ
おぼろのりて

舟
おぼろのりて

木里 木里

舟
おぼろのりて

舟
おぼろのりて

舟
おぼろのりて

古志の里 古志

舟
おぼろのりて

二山五里 左記 喜和山五

之吉野里 左記

此山五里の山五里の山五里

此山五里の山五里の山五里

此山五里の山五里の山五里

水豆里 左記 喜和山五

此山五里の山五里の山五里

水豆里 左記 喜和山五

此山五里の山五里の山五里

赤里 左記

此山五里の山五里の山五里

河津村里 左記

此山五里の山五里の山五里

青墓里 左記

此山五里の山五里の山五里

左記

青木里 左記

此山五里の山五里の山五里

此山五里の山五里の山五里

浪賀里 左記 喜和山五

此山五里の山五里の山五里

浪賀里 左記 喜和山五

此山五里の山五里の山五里

浪賀里 左記

浪賀里 左記 喜和山五

此山五里の山五里の山五里

白川里 左記

赤里 左記

此山五里の山五里の山五里

河津村里 左記

此山五里の山五里の山五里

青墓里 左記

此山五里の山五里の山五里

左記

青木里 左記

此山五里の山五里の山五里

此山五里の山五里の山五里

赤里 左記

此山五里の山五里の山五里

赤里 左記

此山五里の山五里の山五里

赤里 左記

此山五里の山五里の山五里

左記

赤里 左記

赤里 左記

此山五里の山五里の山五里

白川里

山

喜多野山

白川の里
白川の里
白川の里

信右里

山

喜多野山

信右の里
信右の里
信右の里

信左里

山

喜多野山

信左の里
信左の里
信左の里

信右里

山

信右の里

山

柳井里

山

柳井の里
柳井の里
柳井の里

信右里

山

喜多野山

信右の里
信右の里
信右の里

信左里

山

喜多野山

信左の里
信左の里
信左の里

菊川里

山

菊川の里
菊川の里
菊川の里

信右里

山

喜多野山

信右の里
信右の里
信右の里

月道里

山

月道の里
月道の里
月道の里

信右里

山

信右の里
信右の里
信右の里

勢田里

山

喜多野山

勢田の里
勢田の里
勢田の里

月日里

山

月日の里

信右里

山

信右の里
信右の里
信右の里

見附里

山

見附の里
見附の里
見附の里

沢田里

山

沢田の里
沢田の里
沢田の里

炭竈里 山崎 幸助

炭竈里 山崎 幸助
炭竈里 山崎 幸助

山崎

友東里 山崎 幸助

友東里 山崎 幸助
友東里 山崎 幸助

任吉里 山崎 幸助

任吉里 山崎 幸助
任吉里 山崎 幸助

里山生 山崎

里山生 山崎
里山生 山崎

二穂古里 幸助

二穂古里 幸助
二穂古里 幸助

山崎里 山崎

山崎里 山崎
山崎里 山崎

山崎里 山崎

山崎里 山崎
山崎里 山崎

山崎里 山崎

山崎里 山崎
山崎里 山崎

山崎里 山崎

山井里 山崎

山井里 山崎
山井里 山崎

山崎

山崎里 山崎

山崎里 山崎
山崎里 山崎

山崎里 山崎

山崎里 山崎
山崎里 山崎

山崎里 山崎

山崎里 山崎
山崎里 山崎

山崎里 山崎

山崎里 山崎
山崎里 山崎

志摩赤里 家

志摩一
志摩の赤里に在る赤里の里
赤里の赤里に在る赤里の里

人吉

人吉の赤里に在る赤里の里
人吉の赤里に在る赤里の里

梅田

梅田の赤里に在る赤里の里
梅田の赤里に在る赤里の里

那平

那平の赤里に在る赤里の里
那平の赤里に在る赤里の里

唐

唐の赤里に在る赤里の里
唐の赤里に在る赤里の里

小丸

芥生

芥生の赤里に在る赤里の里
芥生の赤里に在る赤里の里

辰

宮

宮の赤里に在る赤里の里
宮の赤里に在る赤里の里

未尾

未尾の赤里に在る赤里の里
未尾の赤里に在る赤里の里

村

十平村

古郡 善西屋

此の村は月のもくしりあり
とまの村に長くあり

小田村

古郡

此の村は古の村人あり
とれもつるあり

小枝村

古郡

此の村は古の村あり
平次元天竺元

吉田村

古郡 善西屋

岩根村

古郡 善西屋

此の村は古の村あり
とれもつるあり

石原村

古郡

此の村は古の村あり
とれもつるあり

泉村

古郡

此の村は古の村あり
とれもつるあり

春部村

古郡

此の村は古の村あり
とれもつるあり

滝村

古郡 善西屋

此の村は古の村あり
とれもつるあり

新田村

古郡

此の村は古の村あり
とれもつるあり

吉見村

古郡

此の村は古の村あり
とれもつるあり

石田村

古郡

此の村は古の村あり
とれもつるあり

高根村

古郡

此の村は古の村あり
とれもつるあり

高水村

古郡

此の村は古の村あり
とれもつるあり

高尾村

古郡

此の村は古の村あり
とれもつるあり

高田村

古郡

ひんがし
神代よりこの地を治りし末
その子の名を以て

雲田村 丹波

新田
高のふもとにありて
雲田の村のりて

栲村 丹波

信治邑系族元大老を世傳す

とらひの陰にまじりて栲の村
其の系も高きなり

古江村 丹波

古江の村の名は古
江の字に因りて

新田
古江の村

依見村 丹波

依見の村の名は依
見の字に因りて

青柳村 丹波

青柳の村の名は青
柳の字に因りて

新田
青柳の村

酒井村 丹波

酒井の村の名は酒
井の字に因りて

湯原渡村 丹波

田中村 丹波

田中の村の名は田
中の字に因りて

玉村 丹波

玉の村の名は玉の
字に因りて

五入村 丹波

五入の村の名は五
入の字に因りて

長江村 丹波

長江の村の名は長
江の字に因りて

新橋村 丹波

新橋の村の名は新
橋の字に因りて

依見村 丹波

依見の村の名は依
見の字に因りて

牛牌村 丹波

牛牌の村の名は牛
牌の字に因りて

紅邑 丹波

紅邑の村の名は紅
邑の字に因りて

八重村 丹波

八重の村の名は八
重の字に因りて

安土村 丹波

後庄屋 此は河川上りては其の
ゆるぎの村のけしきなり

介
多 山 巖吹 黄刀 自作 歌

万十一市皇女集於伊勢神宮時見波
多 山 巖吹 黄刀 自作 歌
河上乃湯津磐村草取を受常
丹七 巽石 常 處 女 煮 手
此の村は河川上りては其のゆるぎの村のけしきなり

本郷村

介
多 山 巖吹 黄刀 自作 歌

板村

介
多 山 巖吹 黄刀 自作 歌

社
多 山 巖吹 黄刀 自作 歌

多 山 巖吹 黄刀 自作 歌

後庄村

多 山 巖吹 黄刀 自作 歌

小島村

多 山 巖吹 黄刀 自作 歌

在馬村

多 山 巖吹 黄刀 自作 歌

安後庄村

多 山 巖吹 黄刀 自作 歌

秋多村

多 山 巖吹 黄刀 自作 歌

あま村

多 山 巖吹 黄刀 自作 歌

藤村

多 山 巖吹 黄刀 自作 歌

坂城邑

市

製糸市 左記 小倉市云

津市 左記 善加川云

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

立田市 左記 糸 糸 糸 糸

西市 左記

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

小糸市 糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

辰市 左記

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

栗津市 左記 糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

相模市 糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

外様
いよいよ何の事かといふ也
極く先づいふべき事

いよいよ二つ一とわづらひし事
あつた事ありありとわづらひし事
極く先づいふべき事
いよいよいふべき事

二編市 左記 幸和山記

借座市 馬

川 山記
いよいよいふべき事
いよいよいふべき事
いよいよいふべき事
いよいよいふべき事
いよいよいふべき事

借座市

いよいよいふべき事

東市 四月五日記

いよいよいふべき事
いよいよいふべき事
いよいよいふべき事
いよいよいふべき事
いよいよいふべき事

東市 左記

いよいよいふべき事
いよいよいふべき事
いよいよいふべき事
いよいよいふべき事
いよいよいふべき事

寺

最上寺 修善寺

新造道延の神祇を奉るが如し
より二條堂の神の具のせむる也
修善寺

石上寺

古記

まろのり石のなりはるが如し
神のくや せむるごとし

素

昔より三人の時に人なるは
あふりてせむる也

初瀬寺

古記

まろのり

初瀬寺

まろのり初瀬寺 ありてのり
まろのり古の人のなり

龍心

古記

出生寺 古記

わらわの家をまつるは
まろのり古の人のなり

橋本寺

古記

まろのり橋本寺はつるは
まろのり古の人のなり

西林寺

古記

わらわの家の神のくやのり
まろのり古の人のなり

西寺

古記

仁和寺

古記

まろのり仁和寺はつるは
まろのり古の人のなり

美道寺

古記

わらわの家の神のくやのり
まろのり古の人のなり

西大寺

古記

まろのり西大寺はつるは
まろのり古の人のなり

豊乐寺

古記

まろのり豊乐寺はつるは
まろのり古の人のなり

橋寺

古記

まろのり橋寺はつるは
まろのり古の人のなり

元 隆 様 御 拜

先代地蔵堂 音階寺の事 乃ち其の西の
尾 オミトトト 桜井 白 碑 乃ち又白
久三ノヤ 岩 是を権馬出 徳助七首歌
の事 乃ち其の西の 乃ち 権の 乃ち 白玉
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

小蔵山 山家

小蔵山 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

長樂寺 山家

乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

元亨 秋 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

檀林寺 山家

乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

高希 山家

乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

吉野寺 山家

横川寺 山家

乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

高野 山家

乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

吉野寺 山家

乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

法勤寺 山家

乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

海松院 山家

乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち
乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち 乃ち

法成寺 山家

大元寺 齋

所遺大元寺とて何れと云ふべし
之を齋と修す

齋の儀は如何と云ふべし
之を齋と修す

月林 齋

所遺月林と云ふべし
之を齋と修す

首を剃りて樹の下に坐す
月の林の如くす

月輝 齋

所遺月輝と云ふべし
之を齋と修す

蘇の如く樹の下に坐す
月の輝の如くす

野寺 齋

所遺野寺と云ふべし
之を齋と修す

花を齋と修す
之を齋と修す

野寺の如くす
之を齋と修す

野寺の如くす
之を齋と修す

小井寺 齋

所遺小井寺と云ふべし
之を齋と修す

小井の如くす
之を齋と修す

雞波寺 齋

所遺雞波寺と云ふべし
之を齋と修す

鳴沙寺 齋

所遺鳴沙寺と云ふべし
之を齋と修す

双界 齋

所遺双界と云ふべし
之を齋と修す

右奈 齋

所遺右奈と云ふべし
之を齋と修す

取寺 齋

所遺取寺と云ふべし
之を齋と修す

天王寺 齋

所遺天王寺と云ふべし
之を齋と修す

安部寺 齋

所遺安部寺と云ふべし
之を齋と修す

坂田寺 齋

所遺坂田寺と云ふべし
之を齋と修す

わくしつのはなをよめをん
集りてしはれはるゝのそん

花 柳

人こころまふれはるん
あつあつとせさむりあふ

花 柳
あつあつとせさむりあふ

法 偏寺

おき通先片作あつあつとせさむりあふ
花の柳のまふりあふ

あつあつとせさむりあふ
あつあつとせさむりあふ

花 柳

園 城

あつあつとせさむりあふ
あつあつとせさむりあふ

あつあつとせさむりあふ
あつあつとせさむりあふ

あつあつとせさむりあふ
あつあつとせさむりあふ

柳 井寺

あつあつとせさむりあふ

清 水寺

あつあつとせさむりあふ

あつあつとせさむりあふ
あつあつとせさむりあふ

山 子 院

法 水寺

あつあつとせさむりあふ

あつあつとせさむりあふ
あつあつとせさむりあふ

あつあつとせさむりあふ

雲 林

あつあつとせさむりあふ

あつあつとせさむりあふ

あつあつとせさむりあふ
あつあつとせさむりあふ

雲 居寺

あつあつとせさむりあふ

あつあつとせさむりあふ
あつあつとせさむりあふ

あつあつとせさむりあふ
あつあつとせさむりあふ

あつあつとせさむりあふ
あつあつとせさむりあふ

小 階寺

あつあつとせさむりあふ
あつあつとせさむりあふ

あつあつとせさむりあふ
あつあつとせさむりあふ

二十餘年二の孫をくれば
むしの人のやうな後をこれ

新川寺

住持

五更上果 新川の流をさけしけり
かき海とさしり

みどり山妙を好ししを
流のあれのらうとあり

平光善ふたすのすしあり

在来寺

住持

かきさしりそのあさうしんを
さすやとさしりあり

光山寺

住持

又さしりあはれしを
松のすふにあり

安楽寺

住持

首 けさけよくえはくし
さすやとさしりあり
はさしりこれのあはれしを
さすやとさしりあり

全書 妙境の首を
とらえんとあり

穴権

住持

千初権の首を
さすやとさしりあり
かきさしりあり

龍舌寺

住持

活法 くれぬさしりあり
かきさしりあり

後醍醐天皇 山家

柔
月夜のささけのうらみのま
つたふらふらとよみそふらん

西園寺 山家

後久しきまの陽をそと
なまのふらふらとよみそふらん
ふらふらの陽をそと

往生院 山家

塔をたつて院とよみのあはれしあやふれハ
ふらのささけささけささけ
ふらのささけささけささけ

三條寺 山家

おとすをたつてのうらむそ何のまの
ささけとよみ

下出寺 山家

まをたつてのうらむそ何のまの
ふらのささけささけささけ
ふらのささけささけささけ
ふらのささけささけささけ

後醍醐天皇 山家

後醍醐天皇
月夜ささけのうらみのま
つたふらふらとよみそふらん

真如堂 山家

真如堂
ふらのささけささけささけ
ふらのささけささけささけ

比叡山寺

介
五十四

比叡山寺の御願を
おぼえし所の山寺

平宮院

少歌

今も平宮院に
住らす所の山寺

平宮院の御願を
おぼえし所の山寺

御林寺

少歌

御林寺の御願を
おぼえし所の山寺

御林寺の御願を
おぼえし所の山寺

後深寺

少歌

後深寺の御願を
おぼえし所の山寺

後深寺の御願を
おぼえし所の山寺

香通寺

少歌

香通寺の御願を
おぼえし所の山寺

香通寺の御願を
おぼえし所の山寺

栖霞寺

少歌

栖霞寺の御願を
おぼえし所の山寺

栖霞寺の御願を
おぼえし所の山寺

園寺

介

少歌

後身...
その...
...
...

周戸院 家

...
...
...

...
...
...

社 宮神

衣法

...

...

...

岩代社

...

...

...

衣上社

...

伊波久

...

...

岩社

...

...

...

...

岩橋社

...

...

...

岩戸社

...

...

...

岩社

...

...

...

此の書は... 月の...

生田社 月 幸ゆたか

磯宮 伊勢

伊津野家 伊勢

西宮 伊勢

嚴布之宮 伊勢 有ノ宮也

孫氏社 伊勢

池津 伊勢

海老木社 伊勢 海老木社ハ

西宮 伊勢

新徳野 山家

此の書は... 佛の名と...

新徳野 山家

今宮 山家

今宮 山家

此の書は... 伊勢...

孫氏社 伊勢

此の書は... 伊勢...

池津 伊勢

海老木社 伊勢

西宮 伊勢

新徳野 山家

此の書は... 伊勢...

今宮 山家

今宮 山家

此の書は... 伊勢...

此の書は... 伊勢...

伊勢

伊勢 伊勢
伊勢やあつきのまゝに
川介のまゝにまゝに

千切の歌 月 年

千代家

千代家 伊勢 長門川
伊勢やあつきのまゝに
川介のまゝにまゝに

伊勢の歌

二宮

二宮 長門川
伊勢やあつきのまゝに
川介のまゝにまゝに

新藤原

新藤原 長門川
伊勢やあつきのまゝに
川介のまゝにまゝに

長谷川

長谷川 長門川
伊勢やあつきのまゝに
川介のまゝにまゝに

岩手

岩手 長門川
伊勢やあつきのまゝに
川介のまゝにまゝに

小島

小島 長門川
伊勢やあつきのまゝに
川介のまゝにまゝに

長谷川

長谷川 長門川
伊勢やあつきのまゝに
川介のまゝにまゝに

青春

青春 長門川
伊勢やあつきのまゝに
川介のまゝにまゝに

香取社

香取社 長門川
伊勢やあつきのまゝに
川介のまゝにまゝに

栢社

栢社 長門川
伊勢やあつきのまゝに
川介のまゝにまゝに

勝州

勝州 長門川
伊勢やあつきのまゝに
川介のまゝにまゝに

豊宮

豊宮 伊勢
伊勢やあつきのまゝに
川介のまゝにまゝに

源社

源社 伊勢
伊勢やあつきのまゝに
川介のまゝにまゝに

登門

登門 伊勢
伊勢やあつきのまゝに
川介のまゝにまゝに

備前

此系

新島 此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

備前

此系

新島 此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

備前

此系

新島 此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

備前

此系

新島 此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

新島 此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

此系

此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

備前

此系

新島 此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

備前

此系

新島 此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

備前

此系

新島 此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

小川の系は、白川の系は、二河の系、
此の系は新島にありて、

備前

此系

新島 此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

備前

此系

新島 此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

備前

此系

新島 此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

備前

此系

備前

此系

新島 此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

備前

此系

新島 此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

新島 此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

新島 此の系は新島にありて、
此の系は新島にありて、

備前

此系

おぼろしき時のゆかり
ひと目も君とてなぬ日あり

春日

春風 春風
あつたまの春風はあつたま
あつたまの春風はあつたま

依羅

依羅 依羅
依羅の春風はあつたま
依羅の春風はあつたま

吉田

吉田 吉田
吉田の春風はあつたま
吉田の春風はあつたま

春風 春風
あつたまの春風はあつたま
あつたまの春風はあつたま

年家

年家 年家
年家の春風はあつたま
年家の春風はあつたま

借家

借家 借家
借家の春風はあつたま
借家の春風はあつたま

河海家

河海家 河海家
河海家の春風はあつたま
河海家の春風はあつたま

吉田

吉田 吉田
吉田の春風はあつたま
吉田の春風はあつたま

井子社

井子社 井子社
井子社の春風はあつたま
井子社の春風はあつたま

大為社

大為社 大為社
大為社の春風はあつたま
大為社の春風はあつたま

右田社

右田社 右田社
右田社の春風はあつたま
右田社の春風はあつたま

玉津橋

玉津橋 玉津橋
玉津橋の春風はあつたま
玉津橋の春風はあつたま

乳家

乳家 乳家
乳家の春風はあつたま
乳家の春風はあつたま

園辯社

園辯社 園辯社
園辯社の春風はあつたま
園辯社の春風はあつたま

流波

流波 流波
流波の春風はあつたま
流波の春風はあつたま

男社 女社 男社女社
ハトト同音

筑屋

つとむる人の海の色ん

月夜

月夜の静けさ

杜 門のつらさ
林 ぞろぞろ

津守社

津守社 津守社

七社

七社

波紋

波紋のうねり

信邦

信邦の徳

厚水社

厚水社

梅宮

梅宮の静けさ

梅宮の静けさ

深谷

深谷の静けさ

久世社

久世社の静けさ

氣流

氣流の静けさ

石上

石上の静けさ

益田社

益田社の静けさ

苗吹社

苗吹社の静けさ

事任

事任

宇水宮 其前

此宮今稱徳寺との時和氣馬尼と今味
宮と云ふ修了け付 徳寺の御寺

西の宮立女侍のころころ
そなたも入らんころの御寺也

一柱 ころの御寺 せいの御寺

野宮 山椒

新り此のまのころころ
けりけりふあつて御寺也

井 寺 あり 階級 寺の御寺
角 寺

大宮 せいの

新り此のまのころころ

そなたも入らんころの御寺也
そなたも入らんころの御寺也

物事のころころの御寺と云ふり
せいの御寺と云ふり

そなたも入らんころの御寺也
そなたも入らんころの御寺也

新り此のまのころころ
けりけりふあつて御寺也

そなたも入らんころの御寺也
そなたも入らんころの御寺也

車舞 せいの

新り此のまのころころ
けりけりふあつて御寺也

そなたも入らんころの御寺也
そなたも入らんころの御寺也

表神 御寺

新り此のまのころころ
けりけりふあつて御寺也

海の美 御寺

新り此のまのころころ
けりけりふあつて御寺也

女架社 御寺

新り此のまのころころ
けりけりふあつて御寺也

天照社 御寺

新り此のまのころころ
けりけりふあつて御寺也

蟻通 御寺

新り此のまのころころ
けりけりふあつて御寺也

大系 山椒 其前

新り此のまのころころ
けりけりふあつて御寺也

悠水宮 御寺

新り此のまのころころ
けりけりふあつて御寺也

樟毛宮 御寺

新り此のまのころころ
けりけりふあつて御寺也

八幡宮 御寺

新り此のまのころころ
けりけりふあつて御寺也

徳の枝

松尾家 山家 幸地山家

あしとくしんもくしん之松尾の尾の
神のうらみ未のよめれん

布政社 左記 日記

石見守の社の甲乙の事
ひびきの事いふ人とかいひ

明上社 任作 幸地山家

あつとくしんを明上の社
を記す事いふ人とかいひ

夏白社 任作 幸地山家

あつとくしんを夏白の社
を記す事いふ人とかいひ

縣家 左記

あつとくしんを縣家の社
を記す事いふ人とかいひ

河原社 任作

あつとくしんを河原の社
を記す事いふ人とかいひ

熱田 任作

あつとくしんを熱田の社
を記す事いふ人とかいひ

井原社 任作

あつとくしんを井原の社
を記す事いふ人とかいひ

荒木社 任作

山家 任作

あつとくしんを山家の社
を記す事いふ人とかいひ

女社 任作

あつとくしんを女社の社
を記す事いふ人とかいひ

南家 任作

あつとくしんを南家の社
を記す事いふ人とかいひ

三石社 任作

あつとくしんを三石の社
を記す事いふ人とかいひ

所従社 任作

あつとくしんを所従の社
を記す事いふ人とかいひ

一社 一五 橋月 名 記

三栗社 任作

あつとくしんを三栗の社
を記す事いふ人とかいひ

美古志原社 任作

あつとくしんを美古志原の社
を記す事いふ人とかいひ

水子守社 任作

あつとくしんを水子守の社
を記す事いふ人とかいひ

竹尾 宗 幸も身も心を保たず
あつたのちゆくもた

朝慈

信房 邦子に先を譲られし
はつたをたれし 信房のま

山極 月 後のま

朝月宮

信房 北東や 朝月のまのやうに
くけのまをうとくをま

雨宮

幸房

信房 雨宮のまのまのまの
まのまのまのまのまの

信房 雨宮のまのまのまの
まのまのまのまのまの

阿波宮

信房

信房 阿波宮のまのまのまの
まのまのまのまのまの

信房 阿波宮のまのまのまの
まのまのまのまのまの

板宮

信房

信房 板宮のまのまのまの
まのまのまのまのまの

小野

信房

信房 小野のまのまのまの
まのまのまのまのまの

信房 小野のまのまのまの
まのまのまのまのまの

清流社

信房

信房 清流社のまのまのまの
まのまのまのまのまの

信房 清流社のまのまのまの
まのまのまのまのまの

信房 阿波宮のまのまのまの
まのまのまのまのまの

知娘社

幸房

信房 知娘社のまのまのまの
まのまのまのまのまの

小竹宮

信房

信房 小竹宮のまのまのまの
まのまのまのまのまの

四宮

信房

信房 四宮のまのまのまの
まのまのまのまのまの

信房 四宮のまのまのまの
まのまのまのまのまの

信房 四宮のまのまのまの
まのまのまのまのまの

信房 四宮のまのまのまの
まのまのまのまのまの

城南寺

信房

信房 城南寺のまのまのまの
まのまのまのまのまの

信房 城南寺のまのまのまの
まのまのまのまのまの

後水宮

信房

信房 後水宮のまのまのまの
まのまのまのまのまの

信房 後水宮のまのまのまの
まのまのまのまのまの

新羅社

信房

信房 新羅社のまのまのまの
まのまのまのまのまの

信房 新羅社のまのまのまの
まのまのまのまのまの

信房 新羅社のまのまのまの
まのまのまのまのまの

二井の流

名人家

名人家の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

貴布衣

貴布衣の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

三端

三端の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

三差

三差の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

水江

水江の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

二室

二室の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

尾屋

尾屋の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

志知

志知の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

帝

帝の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

録

録の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

領

領の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

少

少の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

少の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

須

須の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

板

板の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

板の名を記す。其の功徳を讃め、其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。其の徳を慕ふ。

十種勝交 名

後居候 万のしつとせをくへんまを
くもるたふも 在りし月

不孝の事 名

後居候 万のしつとせをくへんまを
くもるたふも 在りし月

不孝の事 名

後連官 名

後居候 万のしつとせをくへんまを
くもるたふも 在りし月

廣田社 名

後居候 万のしつとせをくへんまを
くもるたふも 在りし月

廣田社 名

廣東社 名

後居候 万のしつとせをくへんまを
くもるたふも 在りし月

一言社 名

後居候 万のしつとせをくへんまを
くもるたふも 在りし月

一言社 名

一言社 名

一言社 名

比叡社 名

後居候 万のしつとせをくへんまを
くもるたふも 在りし月

鎮西 名

後居候 万のしつとせをくへんまを
くもるたふも 在りし月

酒折交 名

後居候 万のしつとせをくへんまを
くもるたふも 在りし月

酒折交 名

月表

後按 ありつけぬ月々の作原あり
ゆえにありあやうや

官 書 石 唯少 三層

七層 一山 岑の山 小室

平野官

後按 新設降りてあるやせしやうや
ひよりのあふしやうや

替深官

凡 能 能多しとて柳のつらやう
やうやうやうやうやう

任吉

後 三層向

後按

とてあつたのあつた任の
あつたあつたあつたあ

雜

長竹松

信房

か
百三
長ん上着たつて
少れられまゝとん

新院

信房

一
つらまそ

極養 松 柳 檜 杉 柏

北 志 杉 松 杉 杉

守良

信房

全
守良の
守良の

月 守良 守良の 守良の

家田松

信房

守良
守良の

石蔵

信房

石蔵の

守良の

山崎

信房

守良の

穂寸

信房

穂寸の

守良の

岩

信房

岩の

海

信房

海の

海松の

博

信房

博の

博の

守

信房

丹生

信房

丹生の

波根

信房

波根の

波

信房

波の

伊

信房

伊の

お宿草
こころのうきをの極楽の心
天よりかきとるの木の香
お宿草
お宿草

竹下
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

本課
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

星月夜
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

無碍
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

宇多水室
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

井坊歌
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

竹馬
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

黒堀
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

西原
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

新派
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

新室
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

徳積
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

星月夜
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

宇多水室
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

井坊歌
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

竹馬
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

黒堀
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

園庭
お宿
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに
お宿草の山のふもとに

小庭 土籠

後漢書云... 羊花様とある所の山の色は
白をあらぬ色や 花らん

花梅 水 材鳥 了群木瓦

橋系

目心
西の角あつたところの波はう
あつたれ山 住居の井

桜亭

少御
よつと桜のすくすくする
よつとよつとよつとよつと

清渚

池系
人さめりたの池のすくすく
清を流すよつとよつと

万三 此の池 清渚の池を
竹青の池をいひける後漢

海舟 庭

舟は... 舟の影の庭にたれを
舟の影の庭にたれを
舟の影の庭にたれを

小田

廣島
舟の影の庭にたれを
舟の影の庭にたれを

尾家深

尾家の深
舟の影の庭にたれを
舟の影の庭にたれを

小解花

古籠
舟の影の庭にたれを
舟の影の庭にたれを

可利利

清渚
舟の影の庭にたれを
舟の影の庭にたれを

可年若

古籠
舟の影の庭にたれを
舟の影の庭にたれを

冠柳

舟の影の庭にたれを
舟の影の庭にたれを

龜頭

舟の影の庭にたれを
舟の影の庭にたれを

神之子

舟の影の庭にたれを

藤間

後漢書
舟の影の庭にたれを
舟の影の庭にたれを

桃園

舟の影の庭にたれを
舟の影の庭にたれを

小曾那 骨

尾指遺傳のそとくといふ事
わが石の指の集めぬ事
生路もつみれあゆむ

以谷

左記
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ
ふん石を合傳のそとくといふ事
わが石の指の集めぬ事
生路もつみれあゆむ

三毛登

左記
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ
ふん石を合傳のそとくといふ事
わが石の指の集めぬ事
生路もつみれあゆむ

小曾那 葉

寶

左記
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ

高屋

左記
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ

多田

左記
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ

谷汲

左記
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ

万七
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ

神水石

左記
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ

樹生

左記
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ

秋牛鼻

左記
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ

吉洗

左記
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ

左記
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ

高屋

左記
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ

高屋

左記
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ

高屋

左記
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ

玉蓮

左記
わがついでに石のそとくといふ事
生路もつみれあゆむ

勝上 法

勝上 法
勝上 法
勝上 法

勝上 法
勝上 法
勝上 法

於祿之 事

於祿之 事
於祿之 事
於祿之 事

於久也 主

於久也 主
於久也 主
於久也 主

中 祿 不 任

中 祿 不 任
中 祿 不 任
中 祿 不 任

無 合 任

無 合 任
無 合 任
無 合 任

室 積 目

室 積 目
室 積 目
室 積 目

物 殿 任

本 生 不 符 初

本 生 不 符 初
本 生 不 符 初
本 生 不 符 初

膚 子 大

膚 子 大
膚 子 大
膚 子 大

祿 衣 旧 任

祿 衣 旧 任
祿 衣 旧 任
祿 衣 旧 任

初 久 也 初

初 久 也 初
初 久 也 初
初 久 也 初

律 見 初 初 初

律 見 初 初 初
律 見 初 初 初
律 見 初 初 初

初 初 初 初

初 初 初 初
初 初 初 初
初 初 初 初

室 積 目

室 積 目
室 積 目
室 積 目

室 生 大

室 生 大
室 生 大
室 生 大

海老原 大上七のり人のいんづかい
とらひのせのあはれいあつらう

竹たけ

竹たけ 頼
竹たけのいんづかい
とらひのせのあはれいあつらう

成る百二人丸 成る百二人丸
成る百二人丸 成る百二人丸

斗字

斗字 海糸
斗字のいんづかい
とらひのせのあはれいあつらう

大田松

大田松 海糸
大田松のいんづかい
とらひのせのあはれいあつらう

極生 海糸

極生 海糸
極生のいんづかい
とらひのせのあはれいあつらう

竹たけ

竹たけ 海糸
竹たけのいんづかい
とらひのせのあはれいあつらう

菅原月

菅原月 海糸
菅原月のいんづかい
とらひのせのあはれいあつらう

浦田

浦田 海糸
浦田のいんづかい
とらひのせのあはれいあつらう

大森本

大森本 海糸
大森本のいんづかい
とらひのせのあはれいあつらう

月 海糸
月のいんづかい
とらひのせのあはれいあつらう

息長

息長 海糸
息長のいんづかい
とらひのせのあはれいあつらう

置勿

置勿 海糸
置勿のいんづかい
とらひのせのあはれいあつらう

黒戸

黒戸 海糸

井上

井上 海糸
井上のいんづかい
とらひのせのあはれいあつらう

折末道

折末道 海糸
折末道のいんづかい
とらひのせのあはれいあつらう

川 海糸
川のいんづかい
とらひのせのあはれいあつらう

蘇木
昨しもれ錦かきとらたつて
是とのくしとひまふとらたつて
とててててててててててて
とててててててててててて

栗間
信
とててててててててててて
栗間の中は信とててて

三村三宅
丹波

とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて

小方
信

とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて

吉井深
寺部

とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて

松
寺部 信

とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて

袋
信

とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて

永瀬
信

とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて

熊来
信

とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて

八木
信

とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて

小本
信

とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて

小吹尾
信

とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて

間
信

とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて

松之介
信

とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて

布可麻
信

とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて

小松
信

とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて
とててててててててててて

夢子曲 翁

わがゆきいひはなはれはるのわら
せいのありはなはれはるのわら

水産 吉部 少知

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

水産 吉部

二重の 若木を食ふはなはれはるのわら
二重の 若木を食ふはなはれはるのわら

標多場 陸奥

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

水産 吉部 少知

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

水産 吉部

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

標多場 吉部

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

赤二仙土 橋本 陸奥

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

月中 吉部 少知

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

平産 吉部 少知

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

平松 吉部 少知

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

未嫁 吉部 少知

水産 吉部 少知

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

水産 吉部

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

標多場 吉部

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

白鳥産 作部 吉部 陸奥

屏凡立 作部

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

比々の子 吉部

若木を食ふはなはれはるのわら
若木を食ふはなはれはるのわら

